

令和4年6月19日（日）

西武文理大学 学生が創る結婚式に参加してきました。

新郎新婦さまの想いを大切にする  
「真実」「誓い」「感謝」



先日、西武文理大学（スピナッチホール）で学生手作りのホスピタリティウェディングが執り行われました。



新郎新婦とも本大学の卒業生で、特に新婦は在学時代このホスピタリティウェディングを運営する立場で、実学で世界に通じるホスピタリティを学びました。

当日はオープンキャンパスも同時開催され、参加者（高校生とその保護者）も2人（新郎新婦）の結婚見届け人として参加いただきました。

温かくそして笑顔がいっぱいの、手作り満載のホスピタリティウェディングでした。

CONCEPT

開学以来、学生が結婚式をプロデュースしています。ブライダルを通じてホスピタリティを学ぶ。本物の結婚式で責任を学ぶ。参加を通じてチームワークを学ぶ。こころをひとつにしてつながりを大切にする。

とても身近なところにある大切な想いをデザインすることが、私たちが考えるホスピタリティデザインです。実現するのは、世界にひとつだけのかたち・・・。

BUNRI BRIDAL

ブライダルの文化を知り、知識やスキルを身につけるほか、学園祭やオープンキャンパスで学生が「本物の結婚式」をプロデュースします。結婚式を成功させるためにチームを組み、おのおのが役割を担い、お互い教えあい学びあいます。目標に向かってそれぞれが参加することで、決して一人では気がつかない多くのことを学べます。

## 学びへのこだわり

- ①新郎新婦さまの想いを大切にする「真実」「誓い」「感謝」
- ②話し合い、教えあい、協動的に学ぶからわかるホスピタリティ
- ③産学共同型プロジェクトベースドラールニング（PBL）



### 本学部の体験学修プログラム 3つの特徴

PBL(Project Based Learning 仕事で学び、社会に教わる)

**第1** は「仕事で学び、社会に教わる」という点です。例えば、ブライダルでは本物の結婚式にこだわっています。たった一度の結婚式だから緊張感があります。お客様と接しながら、仕事の役割を担います。教室で先生に膨大な知識を教わるのではなく、社会に教えを乞うのです。

**第2** は「先輩や仲間と一緒に問題を解決する」という点です。チームで働くから、決して一人では気が付かなかったことを学べるという利点があります。先輩や仲間と一緒に仕事をすることで、やり方を教えてもらったり、仲間の良きふるまいを見て真似ができたり、課題を解決するために話し合いから解決の糸口を見つけられます。成功や失敗から予測と準備の大切さを学べます。

**第3** は、「プロジェクトのミッションのクリアを目指す」ということです。プロジェクトのミッションをクリアするためには、与えられた仕事の責任を果たすということが大切です。「いい仕事をしたい」という気持ちがプロジェクトへの貢献を実現させるのです。

サービス経営学部 教授 徳田